

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策Ⅲ-4-4 文化財の保存・継承と活用
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	世界遺産室長 小塚誠治	電話番号	0852-22-6128
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	未来に引き継ぐ石見銀山保全事業		
目的	(1) 対象	県民、国民等	
	(2) 意図	世界遺産「石見銀山遺跡」の調査研究を継続し、適切な保存整備の実施と活用を図ることで、その文化遺産を未来に継承していく。	
事業概要	1. 世界遺産総合調査研究 石見銀山遺跡に関する調査研究を推進することにより、遺跡の全容解明を目指し、世界遺産としての価値を高めていく。 2. 世界遺産保存整備 石見銀山遺跡を適切に保存管理・整備することにより、世界遺産として永く後世に引き継いでいく。 3. 世界遺産総合情報発信 調査研究を通して明らかにされた石見銀山遺跡の価値を、より広く情報発信し理解を深める。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 調査研究・保存整備の実績について、報告書・一般向け講座等により公表した回数	目標値		8.0	9.0	8.0	8.0	回
		取組目標値						
	式・定義 公表した回数	実績値	10.0					
		達成率	—	—	—	—	—	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	—	—	—	—	—	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	140,708	160,444
うち一般財源(千円)	140,308	160,444

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基じた現状)

<ul style="list-style-type: none"> ○ 調査研究 … 石造物調査、文献調査、間歩調査などを実施し、研究成果として報告書3冊を刊行 ○ 保存整備 … 老朽による破損・倒壊の恐れがある建築の修理・修景、伝統的建造物の保存活用に向けた修理について、大田市及び所有者が実施する事業を補助 ○ 情報発信 … 県内では邑南町、出雲市で計2回のセミナーを開催。県外では大阪会場で計4回のセミナーを開催し、セミナーの記録集を刊行
--

6. 成果があったこと(改善されたこと)

<ul style="list-style-type: none"> ○ 着実な調査研究を実施するとともに、報告書を全国の図書館や博物館へ発送し、研究成果の発信を実施 ○ 沖泊恵比須神社及び伝統的建造物(民家等)計3棟の修理及び伝統的建造物である宗岡家の保存活用のための解体修理について、事業を補助し、適切な遺跡整備を実施 ○ 県内、県外で計6回のセミナーを開催し、参加者は約570名(平成26年度は延べ約530名)また、セミナーの記録集を刊行し、全国の図書館や博物館へ発送
--

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石見銀山遺跡の認知度が低く、また価値が十分には伝わっていない。
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広大な面積と多様な構成資産を持ち、一見だけではその価値を理解しにくい。 ・来訪者数が減少し、遺産価値に触れる機会が減少しているため。 ・情報発信が十分できていない。
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究成果の一般に向けた情報発信 ・認知度・来訪意欲の向上と創出 ・コース設定や素材の掘り起こし、ブラッシュアップが必要

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

<ul style="list-style-type: none"> ・調査研究をさらに深め、来訪者やセミナー参加者の指向や関心の動向も探りながら、展示や県内外セミナー等で一般にも分かりやすい情報発信を広く行う。 ・来訪者等に石見銀山遺跡を分かりやすく伝えるため、大田市などと連携し、遺跡整備・公開活用を効果的に実施するとともに、コース設定等による回遊性向上を図ることが必要。
--

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価(任意記載)

--